

10万人わがまちクリーン運動

5月21日（日）午前9時から10時までの1時間、尼崎市では市が主催する「わがまち一斉クリーン運動」が行われました。これは今年、市制107年目を迎える尼崎市が市制80周年の時に市、市民、事業者が一体となって取り組んだ全市一斉の「10万人わがまちクリーン運動」を継続して実施することにより、市民や在学、在勤の人々が自らの手でまちの美化を推進するとともに、協働のまちづくりを推進する目的で実施されているものです。

これに**昨年に引き続き本校の女子バスケットボール部、今年は新しく野球部と男子バスケットボール部が参加**し、通学等で利用している阪急武庫之荘駅周辺やJR塚口駅周辺で清掃活動を行いました。

こういった活動は高校生にとって**豊かな学びの機会**であると言われます。最近の日本の若者は自尊感情が低く、人との関係作りが苦手であり、相手の立場に立って考えることができにくいと言われます。しかし、地域活動やボランティア活動をしている高校生たちは様々な地域課題や問題に対して身近なものとしてとらえ、**年代も含め多様な人たちと協働しながら解決や作業にあたる**ことが多く、**自尊感情や社会的有用感、コミュニケーション能力が高い**と言われます。**多様な人たちや地域とかかわることを通して、もう一人の自分を発見したり、世の中の矛盾や問題を発見したり、生きることの素晴らしさや「必要とされる自分」を発見していくこと**になります。地域活動やボランティア活動をする中で、年齢層も違う多様な人たちと出会い、地域の現状に触れながら協働することで人としてよりよい生き方を探し求める、つまり**生きる力を培う活動として必要な活動**と言えます。

本校も地域に開かれた学校を目指してコミュニテースクールとなりましたが、全国の多くの高校が「地域に開かれた高校」「地域に根ざした高校」さらには「地域とともに歩む高校」へ進んでいるのは**高校生にとっても、地域社会の維持・発展にとってもお互いに必要**であるという認識が広まっているからです。ぜひ、本校の生徒たちも機会あるごとに地域活動やボランティア活動を継続して行ってほしいと思います。





